

中小企業景気動向調査

(2022年7~9月調査)



景況レポート

vol.177

(2022年10月20日発行)

目次

- 全業種業況概要(業況~設備の状況) 1
- 業種別業況の推移 3
 - 製造業/卸売業/小売業 4
 - 建設業/サービス業/不動産業 5
- 特別調査(中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について)・ 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

●調査時点

2022年9月初旬

●調査対象時期

2022年7月~9月実績及び
2022年10月~12月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	54	96.4
卸売業	21	10.5	16	76.2
小売業	42	21.0	34	81.0
建設業	32	16.0	29	90.6
サービス業	32	16.0	29	90.6
不動産業	17	8.5	14	82.4
合計	200	100.0	176	88.0

分析方法 D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)
B=ややA
C=普通(変わらず・適正) $D.I=A \cdot B - D \cdot E$
D=ややE
E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A.B.C.D.E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

売上額・収益が悪化するも、業況は改善

金沢信用金庫が行った中小企業176社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率88.0%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は△12.5(前期△15.8)と3.3%改善した。

業種別では、建設業が△3.4(前期△28.6)と25.2%改善、ほかサービス業が△20.7(前期△27.6)と6.9%、小売業が△20.6(前期

△25.7)と5.1%改善したが、製造業が△13.0(前期△9.3)と3.7%、卸売業は6.3(前期11.8)と5.5%、不動産業は△14.3(前期0.0)と14.3%悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは△8.0と4.5%の改善を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは2.8(前期3.4)と0.6%悪化、収益判断DIも△8.5(前期△4.5)と4.0%悪化した。来期予想では、売上額判断DIが13.1と10.3%の改善、収益判断DIも1.7と10.2%の改善を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も

多かった回答は、「売上の停滞・減少」(全回答中43.2%)で、以下「原材料高」(全回答中37.5%)、「人手不足」(全回答中25.0%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費の削減」(全回答中42.0%)との回答が最も多く、以下「販路を広げる」(全回答中38.6%)、「人材を確保する」(全回答中33.5%)という結果となった。

(注)2022年4~6月を前期、7~9月を今期、10~12月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	時期	2020年(令和2年)				2021年(令和3年)				2022年(令和4年)				見通し
		10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	
総合		☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
製造業		☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
卸売業		☔️	☔️	☔️	☔️	☀️	☁️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
小売業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️
建設業		☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
サービス業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
不動産業		☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

全業種

	2020年 (令和2年)	2021年(令和3年)				2022年(令和4年)				見 通 し
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	
業 況	△49.5	△44.3	△48.4	△36.1	△12.4	△32.6	△15.8	△12.5	△ 8.0	
売 上 額	△ 7.4	△38.8	△18.1	△ 5.5	11.2	△25.7	3.4	2.8	13.1	
受 注 残	△ 5.9	△29.4	0.0	3.5	18.1	△14.6	△ 2.4	△ 1.2	3.6	
収 益	△10.1	△36.1	△20.3	△12.6	2.2	△24.6	△ 4.5	△ 8.5	1.7	
販 売 価 格	1.6	△ 3.3	△ 3.3	5.5	13.5	11.4	22.0	29.0	25.0	
原 材 料 価 格	11.2	16.9	31.9	40.4	51.7	55.4	70.1	67.0	56.8	
在 庫	6.3	6.5	9.2	4.6	△ 5.4	3.4	0.7	10.2	4.8	
資 金 繰 り	△ 8.0	△10.4	△17.0	△12.0	△12.9	△16.0	△ 7.3	△10.2	△ 8.5	
雇 用 (人 手)	△11.2	△ 3.8	△ 2.2	△14.8	△25.8	△15.4	△23.2	△30.7	△34.1	
設 備 状 況	△12.2	△11.4	△11.4	△13.0	△17.0	△10.6	△10.4	△16.0	△17.3	

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた162社の動向です。

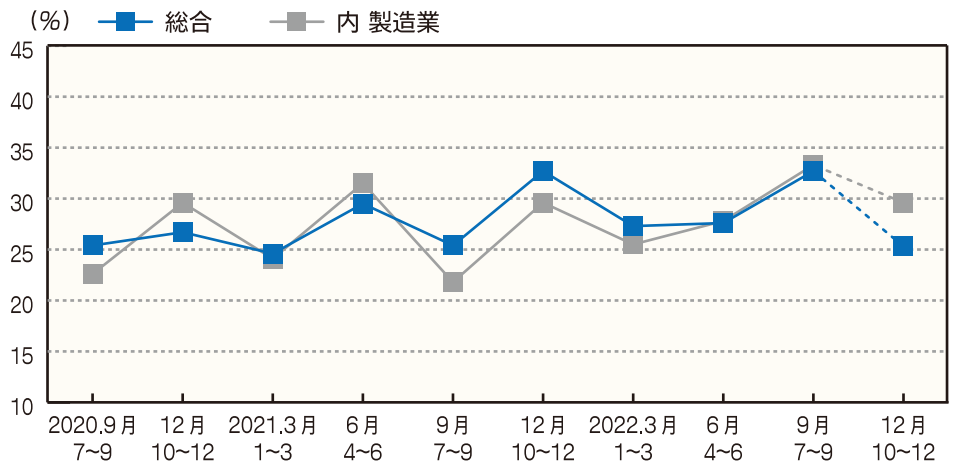
● 7~9月の設備投資実施状況

		有	無
総 合	数	53	109
	%	32.7	67.3
(内 製造業)	数	18	36
	%	33.3	66.7

(来期見通し)

		有	無
総 合	数	41	121
	%	25.3	74.7
(内 製造業)	数	16	38
	%	29.6	70.4

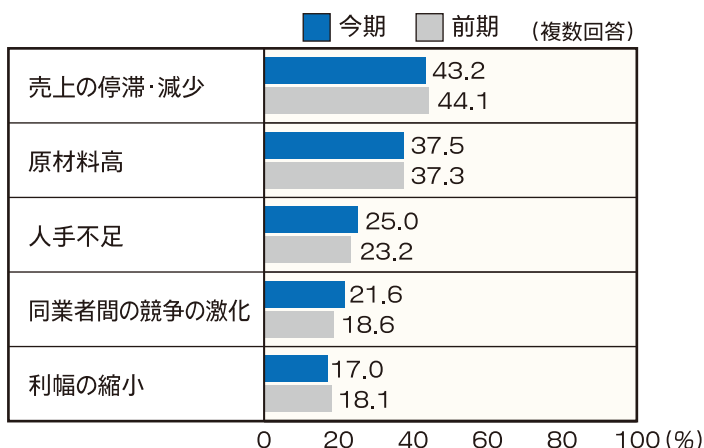
● 設備投資実施(予定)割合



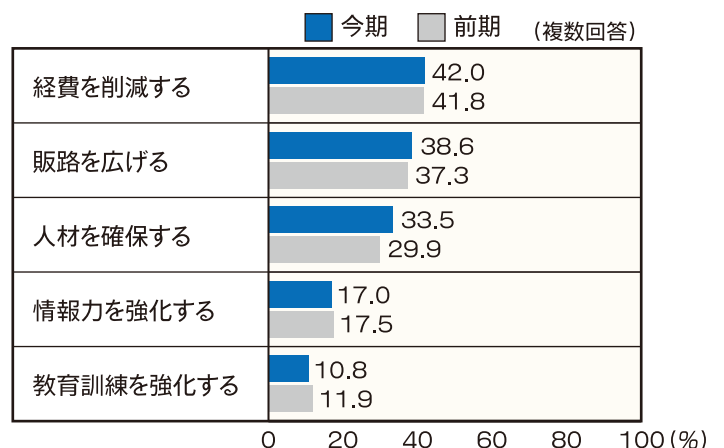
● 7~9月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
総 合	%	4.9	9.3	11.1	9.9	9.3	3.1
(内 製造業)	%	1.9	13.0	9.3	11.1	11.1	1.9

経営上の問題点



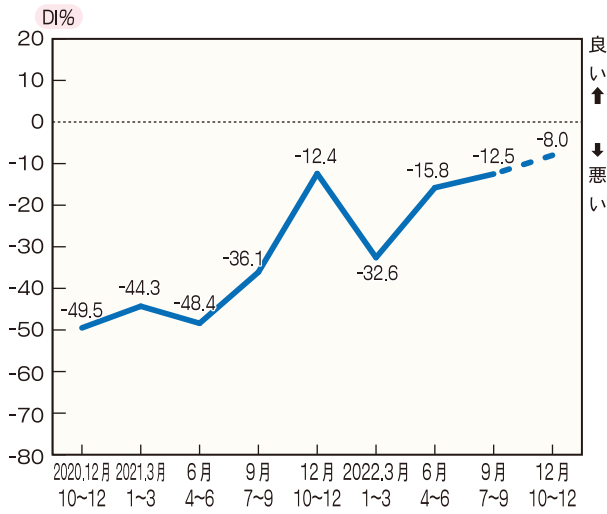
重点経営施策



全業種

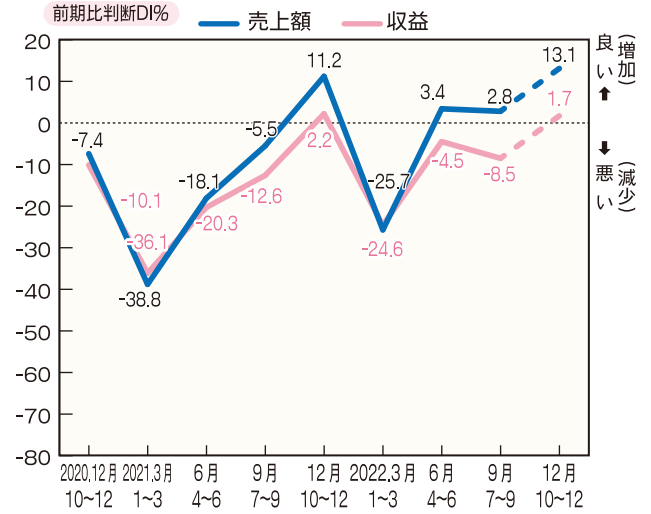
業況

前期から3.3ポイント改善
来期も4.5ポイントの改善を予想



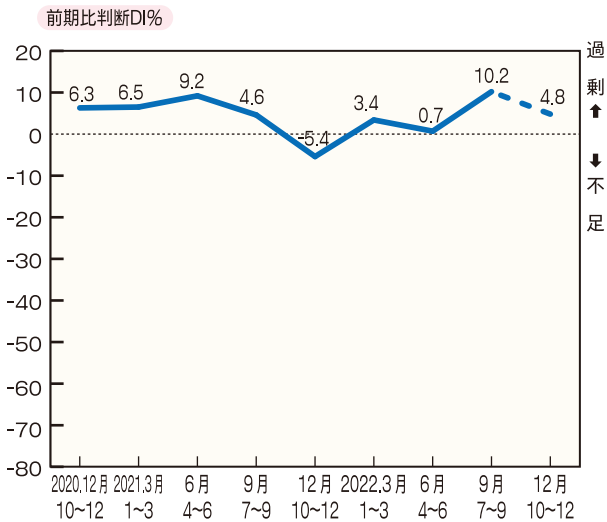
売上額・収益

売上額は0.6ポイント
収益は4.0ポイント悪化



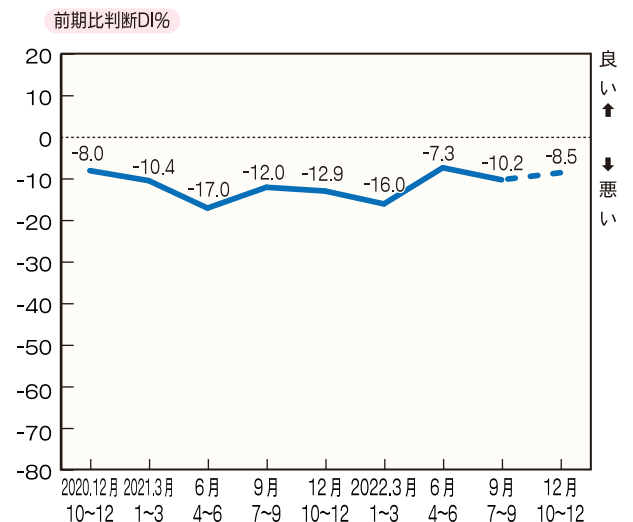
在庫

今期10.2(前期0.7)と
やや過剰に



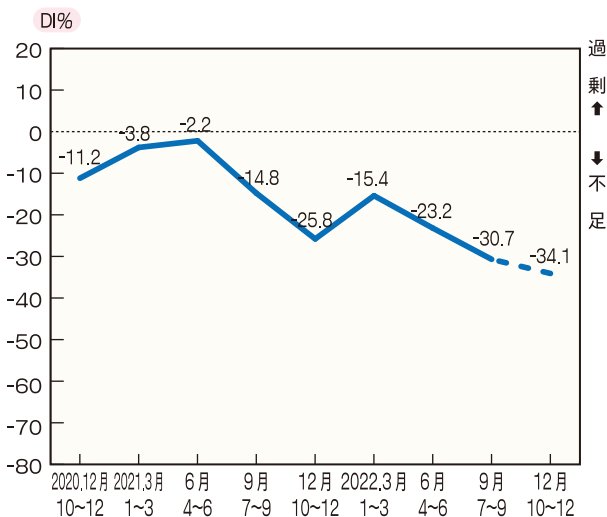
資金繰り

△10.2(前期△7.3)と悪化



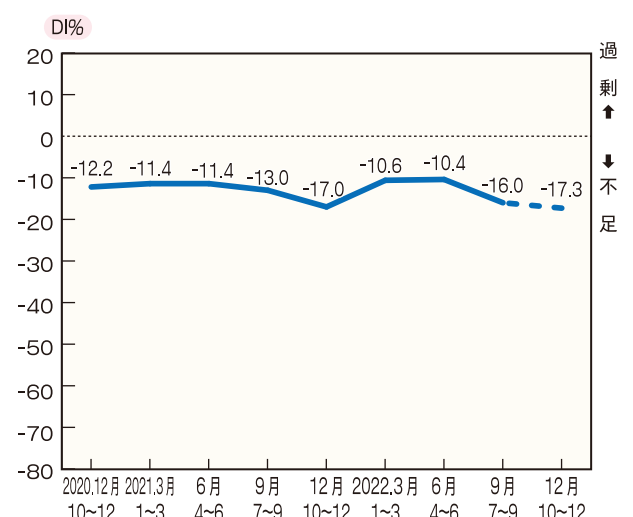
雇用

今期△30.7(前期△23.2)と
不足感がさらに増加



設備の状況

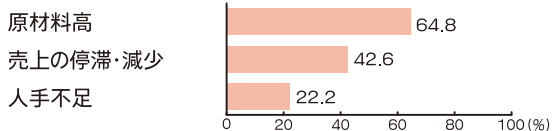
△16.0(前期△10.4)と
投資の動きは減少



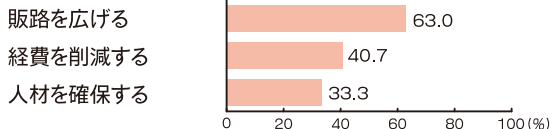
製造業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



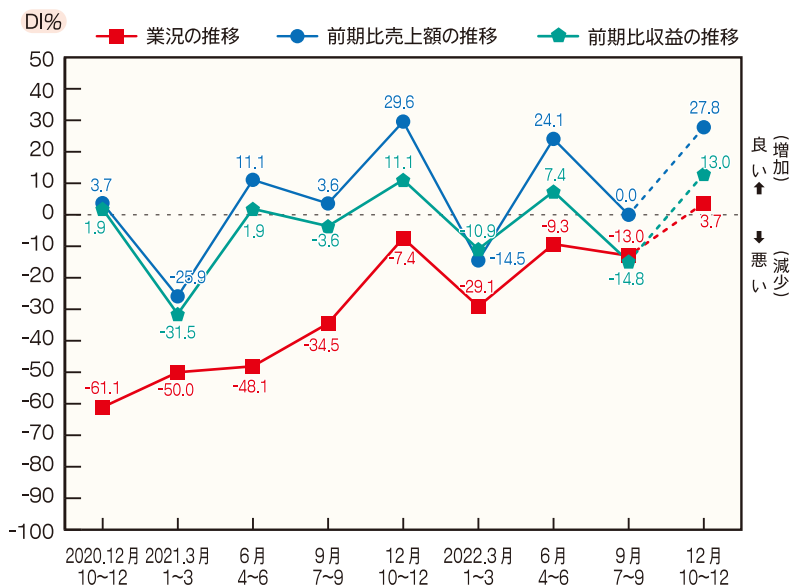
◆ 昨年同時期 (2021年7~9月) に比した動き

売上額	31.5
収益	3.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	13.0%
借入の予定	24.1%

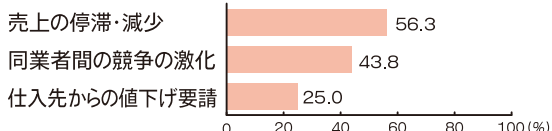
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



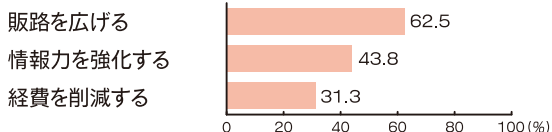
卸売業

業況・収益が悪化
売上額は改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



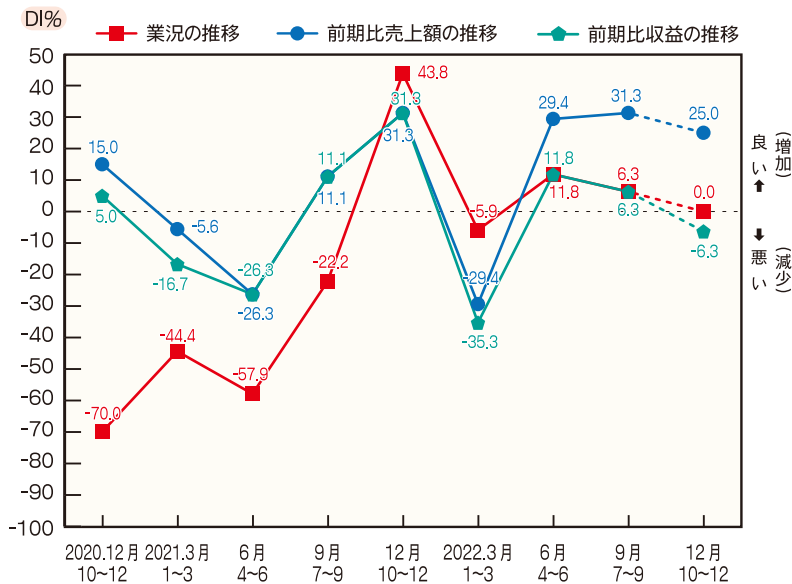
◆ 昨年同時期 (2021年7~9月) に比した動き

売上額	18.8
収益	18.8
販売価格	56.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	25.0%
借入の予定	25.0%

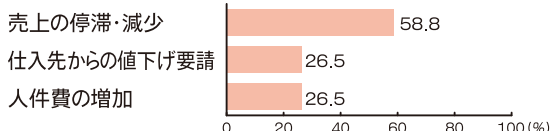
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



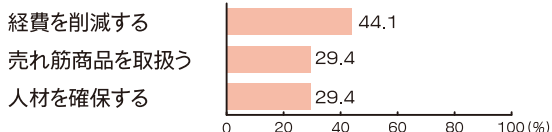
小売業

業況・売上額が改善
収益は悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



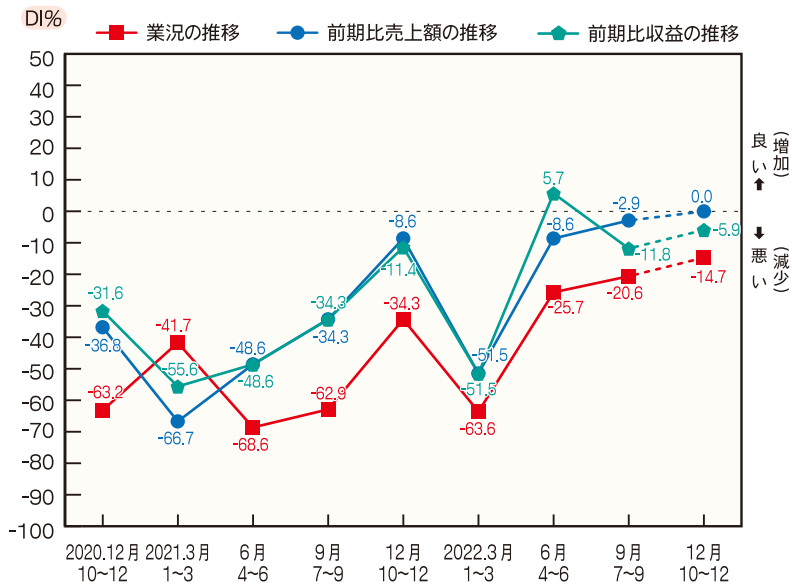
◆ 昨年同時期 (2021年7~9月) に比した動き

売上額	2.9
収益	△2.9
販売価格	41.2

◆ 借入金の動き

借入の実施	14.7%
借入の予定	11.8%

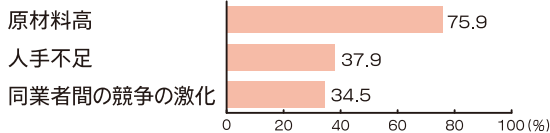
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



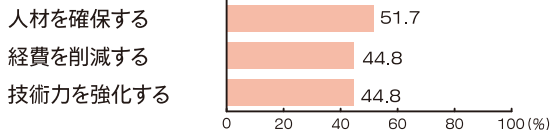
建設業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



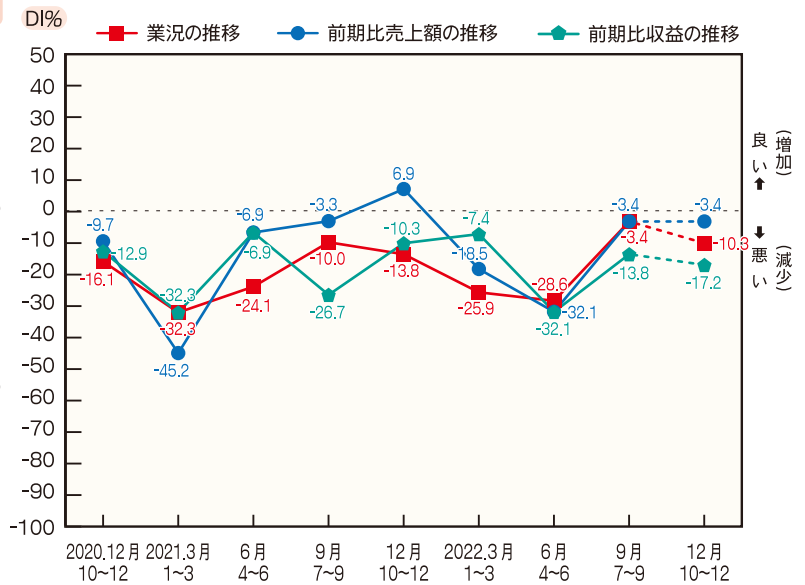
◆ 昨年同時期 (2021年7~9月) に比べた動き

売上額	△27.6
収益	△34.5

◆ 借入金の動き

借入の実施	24.1%
借入の予定	20.7%

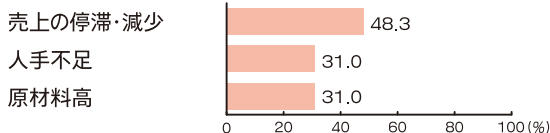
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



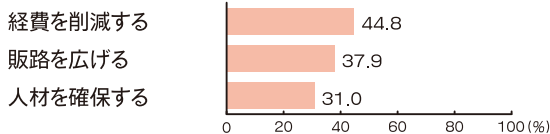
サービス業

業況・売上額・収益
ともに2期連続で改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



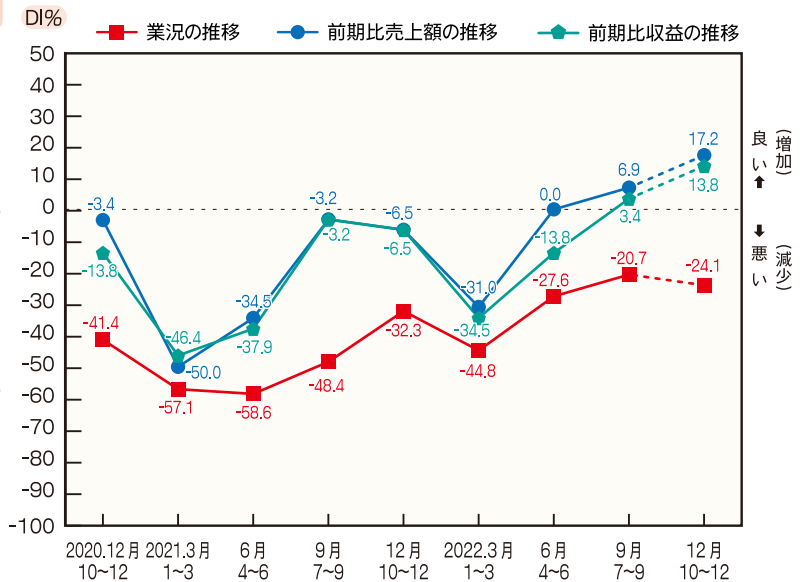
◆ 昨年同時期 (2021年7~9月) に比べた動き

売上額	20.7
収益	6.9

◆ 借入金の動き

借入の実施	13.8%
借入の予定	20.7%

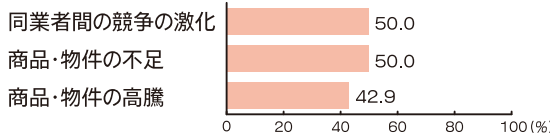
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



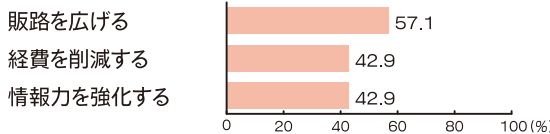
不動産業

売上額は横ばい、収益は
改善するも業況は悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



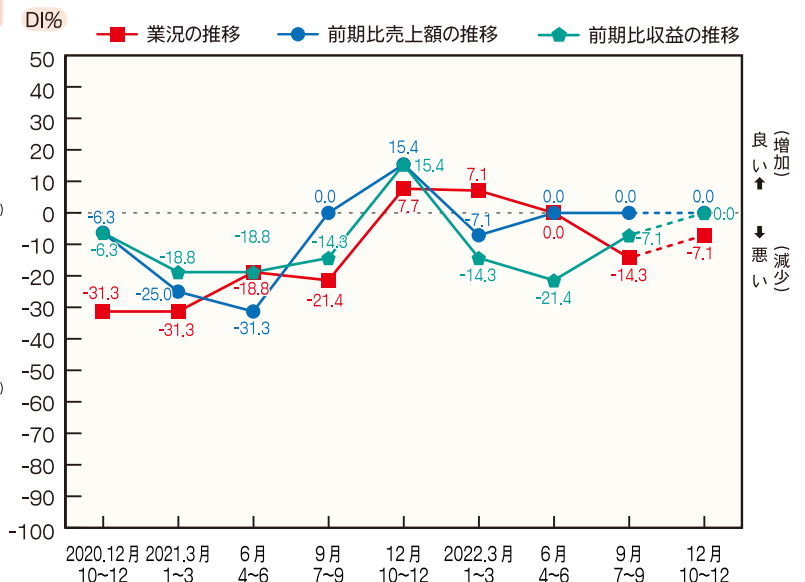
◆ 昨年同時期 (2021年7~9月) に比べた動き

売上額	△7.1
収益	△14.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	35.7%
借入の予定	35.7%

◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



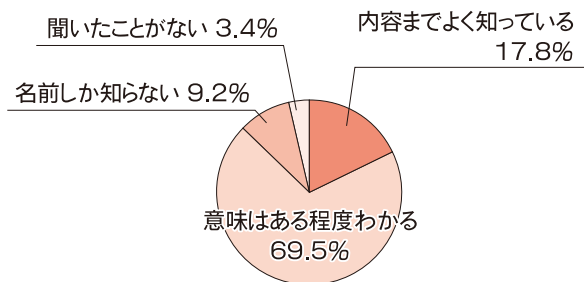


特別調査 中小企業におけるSDGs (持続可能な開発目標) の取組状況について

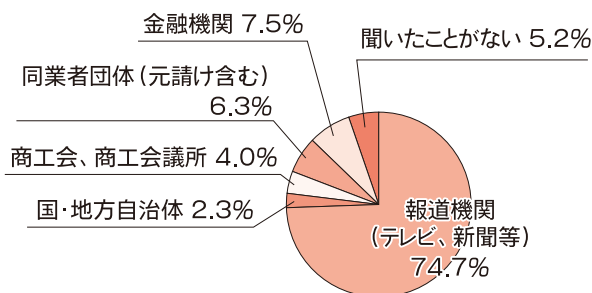
174社 (無回答2社) に調査し回答をいただいたものです。

1 SDGsについてどのような認知度にありますか。
また、SDGsについて、どういった機関から情報を得ていますか。

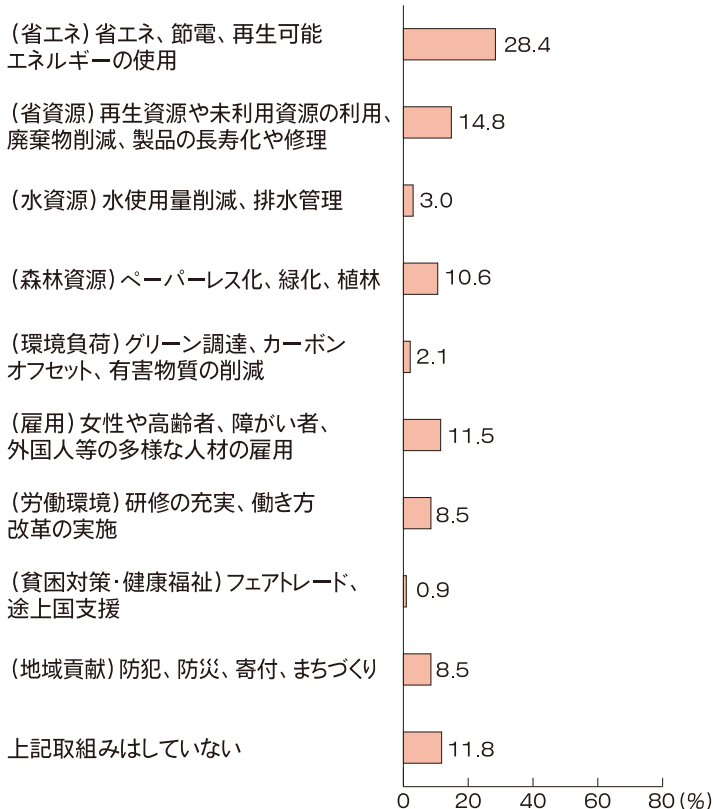
認知度



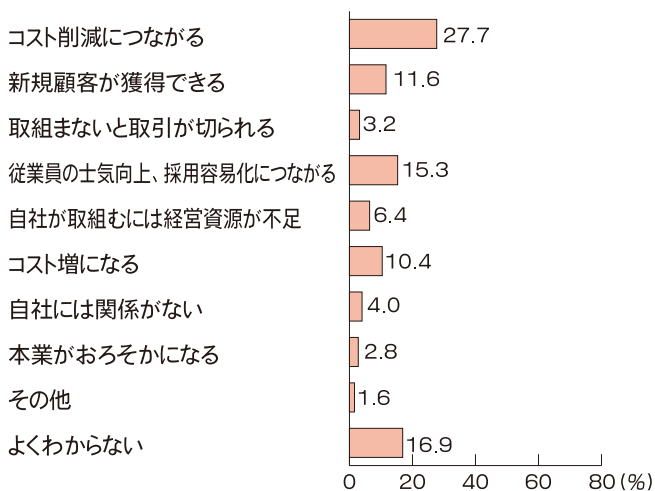
情報源



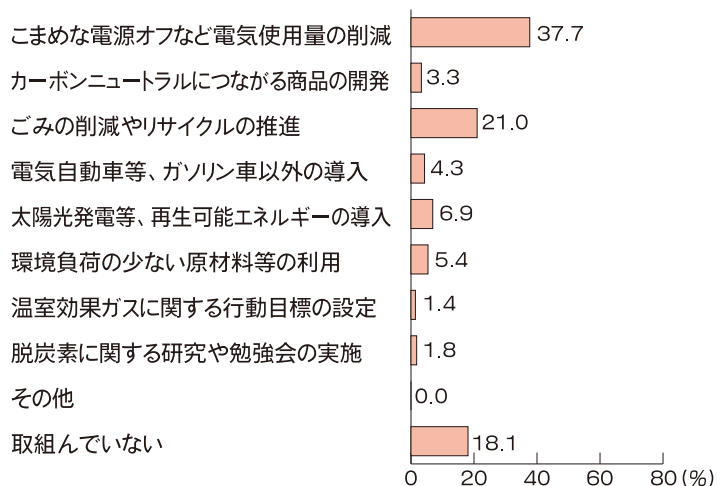
2 下記の取組みは、いずれもSDGsの理念と一致しています。
これらの取組みを行っていますか。(複数回答)



3 企業がSDGsに取り組むことについてどのような印象をもっていますか。(複数回答)



4 SDGsの取組みの一つ、カーボンニュートラル (温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化) に関し、取組まれている施策は何ですか。(複数回答)



5 SDGsについて、外部機関 (公的、民間問わず) からどのようなサポートを期待しますか。(複数回答)

